

## 令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	40	学校名	静岡県立科学技術高等学校	記載者	田中 学
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日常の学習習慣を定着させる。	「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒90%以上	B	A	昨年度よりも数値的には少し下がっているようですが、観点別評価の研究及び実践、活動リーダーの育成など、具体的な手立てを講じていることや、他の項目の成果から生徒が生き生きと探究に取り組んでいる姿が想像されるため、十分目標を達成しているのではないかと考えました。
		「授業の内容がよく分かる」と回答する生徒90%以上	B	B	教職員の取組については十分評価できると思います。ただ、数値目標を90%としている学校の姿勢を応援する意味で、Bとさせていただきます。
		「教員は授業を大切にするとともに、分かりやすい授業を行おうと努めている」と答える保護者80%以上	B	B	昨年度より達成状況の数値が高くなっていることから、学校ホームページや保護者会等の手立てが効果的に機能していることがうかがえます。保護者に授業の様子や学校の取組が伝わることは、学校に対する信頼や期待にもつながりますので、今年度伝わりにくかった要因を分析し、伝達方法を工夫していただければと思います。 目標達成には至っていませんが、これは目標がかなり高く設定されているためであり、良質な授業が行われていると推測します。3項目ともとても高い達成状況と評価します。
		1日の授業、課外活動、家庭学習の合計学習時間が10時間となる生徒50%以上。	B	B	学習と課外活動の両立に努めている生徒が5%も増えていることは、明確な成果であると思います。他の項目の取組から、時間だけでなく質も向上してきていることが分かるため、次年度も引き続き同じ目標で取り組み、一日の活動を充実させていく工夫をしていくことがよいのではないかと思います。ただ、教職員と生徒の皆さんがよく頑張っているのにも関わらずなかなか10時間以上の割合が増えない要因に、生徒や教職員の負担の増加があるとしたら、目標を見直す必要があるのではないかと考えます。
		「学習と部活動等の課外活動が両立できている」と答える生徒70%以上	B	B	

		教養力テストの実施	A	A	家庭学習の習慣化と計画的に取り組む力は、継続することによって身に付くと思います。個々の能力を高め、社会に出てからも必要な力であることから、継続していくことがよいと思います。
個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。		手帳やICT端末の活用等により、「生活習慣を整え、学習時間やスケジュールの管理ができている」と答える生徒60%以上	C	C	他の項目を見ると、生徒が主体的に取り組む場面が増えており、生徒一人一人のスケジュール管理の必要性も増しているのにも関わらず、この項目の数値が大幅に低下している要因を分析し、改善していくことが必要かと思います。コロナ禍が明け、今までの経験になかったことが生徒の生活に盛り込まれるようになり、多忙感が増したこともあるのかなと思います。そうだとしたら、今こそが、生活習慣を整えることの大切さ、スケジュール管理をすることの大切さを実感させ、身に付けさせるチャンスだと考えます。 「活用事例を校内全体で共有していく」というのは良いアイデアだと思います。メリットを感じられれば、増えると思います。
		「自分の将来に対する夢や希望を持っている」と答える生徒80%以上	B	A	3年生で一気に20%以上増加することから、3年生になり、進路選択が現実味を帯びてくることと関係しているように思われます。進路選択の具体がまだ見えない1、2年の割合が増えてきたら、ますます魅力ある学校になっていくのではないかと思います。
		「信頼できる先生がいる」と答える生徒80%以上	A	A	学校に慣れることが第一目標の1年生と、進路が目の前に迫っている3年生が高くなっていることから、生徒が安心して学校生活や学習などについて相談できる環境が整っていることを感じます。
	「きめ細やかで適切な進路指導がなされている」と答える保護者80%以上	A	A	同じ保護者であるが2年生から3年生になると13.4%もアップすることから、貴校の進路指導に信頼を寄せている保護者が多いことがうかがえました。 同じ集団を昨年度と比較すると、すべての集団が昨年度より向上し、最終学年の3年生の達成状況が際立って高くなっていることから、教職員の皆様が生徒の実態と成長の状況を上手に捉え、適切な指導を積み重ねてきたことがうかがえます。	

		<p>国公立大学合格者70人以上</p> <p>就職内定率100%</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>この項目は、貴校の大きな魅力の一つだと思います。就職内定率100%は、教職員と生徒の皆さんの努力はもちろん、企業からの信頼の大きさも表しているものだと思います。一人一人の生徒に寄り添うことは大変なことだと思いますが、今後も大切にしていただければと思います。</p>
	<p>部活動を効率的に実施する。</p>	<p>「部活動に参加している」生徒80%以上</p> <p>「学校が楽しい」と答える生徒80%以上</p> <p>「部活動ガイドライン等を踏まえ、適切な指導ができた」と答える教員90%以上</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>部活動に参加している生徒が昨年度よりも17.3%も増えており、目標の数値を大きく上回っていますが、一年間でここまで達成状況が伸びた要因について分析することも今後につながると思います。コロナ禍だけが要因であるのか、今後もそうした傾向が続くのか、注視していくことが必要かと思います。部活動の在り方、教職員のかかわり方については、中学校でも課題になっています。部活動を通したリーダー育成も大切にされるということですが、職員の負担軽減とのバランスを考えながら工夫していただきたいと思います。</p> <p>部活動の指導は難しいと思うが、生徒も保護者も満足のものにしてほしい。</p>
	<p>生徒主体の活動を推進する。</p>	<p>生徒会が企画した事業の実施 年2回以上</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>事業の企画、運営は、それに関わった生徒の視野が広がります。また、専門分野を活かしたものであるならば、学習の深まりだけでなく、社会に出たときの自信にもつながるものだと思います。考え、計画を立て、立ちはだかる様々な問題について話し合いながら乗り越えていく経験は、今後も大切にしていってほしいと思います。</p>
イ	<p>探究的な教育活動を推進する。</p>	<p>課題研究への主体的な取組を促すとともに、STEAM 教育等の教科横断的な取組を实践する。(大学や企業等との連携)</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>それぞれの科が工夫を凝らし、生徒に主体的な取組を促していることを評価します。</p> <p><b>【機械工学】</b></p> <p>生徒主体の探究のためには、それなりの時間と環境づくりが必要かと思えます。こうした支援が生徒の探究意欲の向上につながっていくと思えます。</p> <p><b>【ロボット工学】</b></p> <p>少人数で取り組ませることで、自分事として考える経験を多くしたことも効果があったと思えます。</p>

					<p><b>【電気工学】</b>          次世代の子どもたちへの願いを目的として取り組んだことは、生徒の探究意欲を向上させることにつながったことと思われます。</p> <p><b>【情報システム】</b>          年々進化し続けるITの方向性に関する最新情報を教授していただける機会があるのは、生徒にとっては必要であり、幸せなことだと思います。</p> <p><b>【建築デザイン】</b>          企業連携が加わったことは、生徒にとっては専門分野を深め、将来の進路を考える上での視野を広げるといふ点で非常に有意義な取組だと思います。また、企業側にとっても将来の担い手育成の観点でみるとメリットがあるのではないかと思います。</p> <p><b>【都市基盤工学】</b>          生徒が探究している課題が、身近な社会（ひと、もの、こと）に結びつくという取組は、生徒の自己有用感を高めることにつながり非常に有意義な取組であると思ひました。貴校だからできる専門分野を通じた実社会と直結した取組ではないかと思ひました。</p> <p><b>【電子物質工学】</b>          身近なものには様々な分野につながるものがあるので、新設の学科であり、幅広い分野に興味・関心をもたせるために工夫された取組であると思ひました。OBによる授業も生徒の心に響くものがあつたのではないかと思ひます。</p> <p><b>【理数】</b>          横断的な学びが増え、外部での発表の場もあつたことから、STEAM教育を意識した探究的な取組がなされたことがうかがえます。</p>
	専門分野の能力を向上させるとともに、必要な資質を育む。	全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞 国家資格等の高度な資格に挑戦させ、受験者数及び合格者数の増加。	A	A	<p><b>【機械工学】</b>          ものづくり競技大会の結果は、旋盤の台数が多いというメリットを十分活かした日常の取組の成果であると感じました。1年生からものづくりに対する経験を積ませることは、「自分の将来に対する夢や希望」にもつながる部分があるのではないかと思ひます。</p>

				<p><b>【ロボット工学】</b>          学習内容が多い中、じっくり考え、試行錯誤するための時間を生み出すことは難しいとは思いますが、こうした取組を大事にいただければと思います。第二種電気工事士の合格率は、大きな成果であり、学校への信頼感にもつながると思います。</p> <p><b>【電気工学】</b>          第一種電気工事士技能練習時間の課題については、生徒に寄り添ったきめ細かな指導と生徒の負担及び職員の働き方といった教員ならではのジレンマの部分だと思えます。難しい課題だとは思いますが、工夫して取り組んでほしいと思います。</p> <p><b>【情報システム】</b>          若年者ものづくり全国大会入賞は、日常の指導の成果であると思う。CBT受験は今後も続いていくと考えられるため、難しい対応になるが、生徒に寄り添った指導を継続していただきたいと思います。</p> <p><b>【建築デザイン】</b>          生徒に寄り添った指導による時間外活動の超過は、教員ならではのジレンマであるが、働き方改革を踏まえた指導を工夫していただきたいと思えます。</p> <p><b>【都市基盤工学】</b>          ジュニアマイスターの取得という明確な目標を、教職員と生徒が共有して取り組み、全員が1つ以上の国家資格を取得できたことは大きな成果だと思えます。</p> <p><b>【電子物質工学】</b>          資格やものづくりコンテストの指導者不足と対策時間の確保については、それだけ熱心に生徒に寄り添った指導をされているのだと受け止めます。</p> <p><b>【理数】</b>          どれも昨年度より参加者数が増えているところから、本年度、充実した活動ができていたことがうかがえます。今後の発表の場、チャレンジする場を大切に、生徒が自ら伸びていこうとする取り組みを続けてほしいと思います。</p>
--	--	--	--	---

様式第5号

		全学科で技術者倫理に関する指導を行う。	A	A	今の社会は日々、技術が進歩しているので、このように毎年ブラッシュアップした内容で指導されていることは望ましいことだと思います。 とても大切なことだと思います。引き続き適切な指導をお願いします。
ウ	グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。	一層充実した語学研修が実施できるよう検討する。	A	A	語学研修及び英語検定と、新しく始まった羅東高校との交流が並行して行われたことに意義を感じました。習得した語学を、実際に活用する場があることは、有効であったと思います。
		英語検定等の受験者数の増加 (CEFR B1及びA2レベルの生徒数の増加)	A	A	
		羅東高校(台湾)と連携し、交流を促進する。	A	A	
持続可能な社会の一員としての素養を育成する。		「挨拶がしっかりとできている」と答える生徒95%以上	A	A	達成状況が向上している項目があることから、教職員と生徒及び保護者との信頼関係がさらに深まっていることを感じました。貴校を安心して生活でき、学べる場所と生徒と保護者が思っているからだと思います。また、頭髪検査の回数が減っても風紀が維持されていることは、社会人としての基本ルールが、自分ごととして意識されているからであると感じました。校則の見直しについては、小、中学校も進めているため、今後も引き続き社会の一員としての自覚を育みつつ検討していただければと思います。 SNSによる犯罪が多発しているため、今後も注視していくことが必要だと思います。一度指導したからというのではなく、継続的に指導していく必要があると思います。 どの項目も高い水準にあり、指導の賜物と評価します。 適切な基準も生徒それぞれかと思いますが、75.9%は立派だと思います。私を含め、社会人でも適切に利用できてないと思われる人はたくさんいます。 スマホ利用への指導についてはなかなか厳しくできないと感じるため、今後の課題だと思います。
		「身だしなみがしっかりとできている」と答える生徒95%以上	A	A	
		「スマートフォン・携帯電話は適切に利用している」と答える生徒80%以上	B	B	

		生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数 2冊以上	A	A	<p>昨年度の課題であった小論文が苦手な生徒のための具体策を講じており、生徒一人当たりの平均貸出冊数が1冊近く増加していることから、取り組んできた手立てが効果的であったことを感じます。</p> <p>昨年度よりも来館者が減少しているようであるが、大まかに見れば昨年度と似た来館状況であると感じる。計算上718人の減少となるが、一人一台端末の活用やスマホの携帯などによる活字離れなども頭に置きながら、今後の図書館の利用状況を注視しつつ、活字のよさも前面に出した情報化社会の中の図書館の在り方なども考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
		図書館来館者数延べ 8,000人以上	B	B	
		インターンシップ、 保育体験実習に参加 した生徒の満足度 90%以上	A	A	
		資源の大切さを意識 させるとともに、「3 Sの意味を理解し、 積極的に取り組んで いる」と答える生徒 70%以上	B	B	
		「交通ルール の遵守に心掛 けている」と 答える生徒 90%以上	A	A	達成状況が目標数値を超えており、昨年度とほぼ同じ状況であることからAとした。しかし、交通安全については、これで十分ということはないので、常に交通ルールを守って自他の安全に気をつけるよう指導を継続していただきたいと思います。
エ	カリキュラム・マ ネジメントを推 進する。	新しい教育課程の編 成	A	A	<p>大学受験や資格取得、企業就職などに向けての取組など、様々な活動がある中、観点別評価の研究と実践に取り組み、結果として生徒の主体性を引き出し、生徒が理解しやすい授業を実施できたことから、Aとしました。</p> <p>令和6年度の学校運営協議会制度を導入するにあたり、様々な準備を進めてきたものと思います。次年度の制度開始に期待しております。</p>
		令和6年度から学校 運営協議会制度を導 入する。	B	B	

様式第5号

	<p>特別支援教育体制を確立する。</p>	<p>「教育相談だより」を、月1回以上発行</p> <p>1年生全員を対象としたカウンセリングを実施</p> <p>個別の指導計画及び支援計画の作成</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>互いの個性や特性を認め合い、相互によさを引き出し合うことや、そのための合理的配慮を行うことは、社会に出ても大事なことだと思います。一人一人に寄り添う環境づくりに努め、個別の支援計画を作成して一人一人のよさを伸ばす教育を心掛けてくださっていることは、生徒にとっても保護者にとっても嬉しいことだと思います。</p>
	<p>教職員の資質・能力の向上を支援する。</p>	<p>「研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた」と答える教員90%以上</p> <p>授業参観した教員70%以上</p> <p>授業力自己診断を実施した教員90%以上</p> <p>多様な測定ツールを用いてPDCAサイクルによる授業改善に取り組んだ教員90%</p> <p>「観点別評価を適切に実施している」と答える教員70%以上</p> <p>「日常的に授業でICT機器を活用した」と答える教員60%以上</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>教職員の向上心が学校をよくし、生徒や保護者、地域の信頼を厚くするものだと思います。昨年度に出てきた課題に対し、具体的な手立てを講じ、成果を上げているので、Aを基本としました。授業力自己診断については、目標数値に達していないため、Bとさせていただきます。しかしながら、授業力自己診断の実施状況は昨年度よりも7.8%増加しているため、教職員の皆様が努力されていることが分かりました。</p> <p>ICT機器については、今後入学してくる生徒の活用が高まってくるため、引き続き活用する努力を続けていきたいと思っています。</p> <p>すべての項目で前年を上回っていて、すばらしいと思います。</p>
	<p>教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。</p>	<p>メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修を随時実施</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>昨年度の「自分事として捉える」という課題について、今年度はグループワークを取り入れたことがよいと思いました。メンタルヘルスやコンプライアンスについては、常に意識していることが大事になるので、引き続き計画的に研修を行っていただければと思います。</p> <p>教職員の体調不調は生徒にも影響を与えかねません。特にメンタルヘルスについては、学校（教育委員会）として十分な対策をお願いします。</p>



様式第5号

学校教育活動に関する広報を充実する。	ホームページを月15回以上更新	A	A	<p>お忙しい中、これだけの情報発信をされていることは、生徒や保護者にも十分伝わっていることと思います。こうした広報活動も、学校に対する信頼や安心感につながっているので、可能な範囲で継続していただきたいと思います。</p> <p>これだけの頻度で更新し、しかも継続させていることに頭が下がります。</p>
	ものづくり教室の実施や校外でのイベント等への参加を推進する。	A	A	<p>このような発表の場を兼ねた広報活動は、生徒の成長につながると思われます。ぜひ、可能な範囲で継続して行ってほしいと思います。</p> <p>静岡市内では、小中一貫教育が進んでいます。今後も科学技術高校ならではの活動を通して中高の連携が推進され、未来を担う人材が育っていくことを願いたいと思います。</p> <p>他校や地域、企業、中学生等、学校外の方々に説明し、一緒に活動したりすることで、学んだことをわかりやすく説明する力がつき、さらに学びを深めていく必然性を感じることができると思いますので、今後も継続していただきたいと願います。</p>
校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	全職員が校務で共有サーバを使用する。	A	A	<p>年々ネットワーク環境が改善されていることが分かります。セキュリティの強化と扱いやすさの部分は両立が、難しい面がありますが、よく工夫されていると思います。</p>
	「業務改善を心掛けた」と答える教員60%以上	A	A	<p>ICTを効果的に導入、活用し、業務の効率化が図られていると思います。働き方改革や指導法の改善にもつながっていると思われます。</p>
	<p>施設・設備の点検の日を設けPFI担当者との点検を月1回以上実施</p> <p>施設・設備の整備、省エネ・省資源への取組を進め、コスト意識を高め、消費電力量を削減</p>	A	A	<p>安全面を大切にし、危険個所の改修を迅速に進めているところは、生徒や保護者、地域の安心感につながります。業者との連絡、調整にも時間がかかるかと思われませんが、今後もこの取り組みは大事にしていきたいと思います。</p> <p>本年度の夏は昨年以上の猛暑だったにも関わらず、使用電力量を2%削減できたことは十分な成果であると思います。</p>
		B	B	